

令和4年度

自)令和 4年 4月 1日

至)令和 5年 3月31日

## 事業計画書及び収支予算書

# 目 次

事業計画書	-----	1	頁
収支予算書	-----	9	頁
予定貸借対照表	-----	12	頁

# 令和 4 年 度

## 一般財団法人さっぽろ水道サービス協会

### 事業計画書

#### I 事業活動方針

##### (1) 事業運営

当協会では、令和元年度から事業運営の指針である第二次5カ年計画「中期経営計画2023」の各取組を進めている。

計画には、今後の協会運営に係る3つの重点施策として「人材の確保・育成」、「事業の広域化」、「業務領域の拡大」を掲げており、4年目となる本年度は、現下のコロナ禍における事業展開への影響を克服しながら、目標達成に向けた取組を継続していく。また、令和5年度は当計画の最終年度にあたることから、これまでに洗い出してきた課題等の解決を図るとともに、次期計画の策定を見据えた事業運営を進める。

##### (2) 経営概況

当協会の事業運営を取り巻く環境は、受託業務への競争原理の導入拡大や民営化手法の拡充が予想される中、自主事業の拡大及び事業の広域化が喫緊の課題であるが、現下のコロナ禍における営業活動の制限など、引き続き予断を許さない厳しい状況が続くと想定される。

このような状況を打開するため、オンライン技術の活用による営業活動の活発化や、積極的な情報の発信など、事業の拡大に向けた取り組みを強化する。

また、引き続き業務の効率化や経費の抑制を図りながら着実に業務を遂行するとともに、全国的に問題となっている水道施設の老朽化対策、特に水管橋の事故防止に係る点検にドローンを活用することや、水道水源の安全性対策として新たな水質検査機器を導入し、検査体制を強化するなど、業務精度の一層の向上に努める。

さらに、事業の拡大に柔軟に対応するため、計画的な職員採用や内部登用を進め優秀な人材を確保するとともに、従来からの内部研修やOJTに加え、オンライン技術を活用した研修体制の強化や、技術・知見の習得に向けた札幌市水道局への研修派遣を継続して行うことにより効果的に人材を育成する。

本年度の事業運営に係る予算規模は、「上下水道料金の督促収納業務」の対象地区の減少や「給水装置工事の検査業務」の検査件数の減少が見込まれる一方、「当別浄水場ほか運転管理業務」の第二期工事に係る試験通水や事前調整作業の増加が見込まれるなど、ほぼ平年並みとなっている。

なお、昨年度も一昨年度に続き、島牧村の「漏水調査業務」を受託できたことは、信頼関係が構築されているからこそであり、このように当協会の技術力が他の近隣自治体からの信頼を得て、事業の拡大に結びつくよう、知識や技術力を高めるとともに、それを提供できる体制を整備することが重要である。

## II 事業の概要

令和4年度は、調査研究・普及宣伝事業、一般事業、受託事業の3事業を実施する。

調査研究・普及宣伝事業は、公益目的支出に位置付けた事業として、札幌市水道事業についてのPR等を行う。

一般事業は、水道技術者等の教育指導、簡易専用水道の検査の2事業を行う。

受託事業は、札幌市水道局から受託した事業を主体とし、11事業を行う。

これらの事業を、3部10課（水道記念館を含む。）19係、職員数257名の体制で実施する。

### 1 調査研究・普及宣伝事業

水道記念館における各種イベントの企画・開催、リーフレット・パンフレットの配布、グッズ販売等のほか、ホームページ等を活用し、札幌市水道事業についてのPRを行う。また、冬季の閉館期間中においては、幼稚園・保育園への出張教室を実施するほか、地下歩行空間などでイベントを開催し、水道事業の普及宣伝活動を行う。

	令和4年度	令和3年度	増減
出張教室 参加・利用者見込数（人）	450	450	0
実施箇所数（箇所）	15	15	0
水道ひろば 参加・利用者見込数（人）	8,000	8,000	0
キャラクターグッズ販売見込数合計（個）	2,560	2,000	560
缶バッジ	1,440	1,280	160
タオル	720	400	320
サッポロスマイルバッジ	400	320	80

### 2 一般事業

#### (1) 水道技術者等の養成に必要な教育及び指導訓練に関する事業

ア 独立行政法人国際協力機構(JICA)が主催し、札幌市水道局が実施する研修会において講師を派遣し、実習指導等を行う。

イ 公益社団法人日本水道協会が主催し、札幌市水道局が実施する講習会において講師を派遣し、実習指導等を行う。

ウ 公益財団法人日本建築衛生管理教育センターが実施する「建築物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく国家資格取得講習会に講師を派遣し、講義を分担担当する。

エ 道内の水道事業体職員の基礎的な技術力の向上と広域的な連携の強化を目的として、札幌市水道局との共催により「水道事業体合同技術研修」を実施する。

	令和4年度	令和3年度	増減
講習会等見込講師派遣数合計（人）	42	42	0
JICA課題別「上水道施設技術総合(B)」コース	12	12	0
水道技術管理者資格取得講習会	3	3	0
建築物環境衛生管理技術者講習会	5	5	0
貯水槽清掃作業監督者再講習会	3	3	0
水道事業体合同技術研修	19	19	0

※見込講師派遣数は延べ人数である。

## (2) 簡易専用水道の検査に関する事業

水道法に定める簡易専用水道(有効容量10m<sup>3</sup>を超える貯水槽)の管理について、設置者等の依頼に基づき検査を行う。

	令和4年度	令和3年度	増減
検査見込件数合計(件)	1,570	1,670	△100
現場検査見込件数	1,200	1,300	△100
書類検査見込件数	370	370	0

## 3 受託事業

### (1) 上下水道料金の督促収納に関する事業

上下水道料金の未納者宅を個別に訪問し、未納分の早期解消促進と今後の納期内納付の奨励を行う。

なお、令和4年度の対象区域は、昨年度の6区から1区(豊平区)減少し、5区(中央区・北区・東区・白石区・西区)となる。

	令和4年度	令和3年度	増減
督促収納見込件数(件)	47,000	65,000	△18,000
取扱見込金額(円)	330,000,000	422,000,000	△92,000,000

### (2) 水道記念館の管理運営に関する事業

水道記念館の管理運営及び藻岩浄水場の施設見学案内並びに水道事業のPRなどを行う。

(令和3年度 開館期間 4月10日(土)～11月14日(日))

(令和4年度 開館予定期間 4月16日(土)～11月15日(火))

	令和4年度	令和3年度	増減
水道記念館目標来館者数(人)	110,000	110,000	0
さっぽろ水道フェスタ目標来館者数	10,000	10,000	0
水道記念館秋まつり目標来館者数	10,000	10,000	0
浄水場見込見学者数	8,000	8,000	0

### (3) 地下埋設物・給水装置台帳の情報提供管理に関する事業

各種工事関係者等の問合せや相談に応じるとともに、申請に基づき地下埋設給配水管及び給水装置台帳の情報を水道局オンラインシステムより出力し提供する。また、システムに登録されている給水装置台帳の原本を逐次整理し保管する。このほか、水道局資材センターの庁舎管理(補助)を実施する。

なお、令和4年度から、5つの窓口のうち1窓口(川沿庁舎)が閉鎖となり4窓口(資材センター、本局庁舎、新琴似庁舎、豊平庁舎)となる。また、本局庁舎窓口では、他の窓口と同様に地下埋設給配水管(管理図)のオンラインシステムによる出図が可能となる。

	令和4年度	令和3年度	増減
地下埋設物情報出力見込枚数(枚)	34,400	29,600	4,800
管理図・給水装置台帳情報出力見込枚数(枚)	91,900	65,500	26,400
複写機利用見込枚数(枚)	14,900	36,500	△21,600
給水装置台帳等保管管理見込件数(件)	17,400	17,300	100

(4) 道路占用許可申請等の受付入力管理に関する事業

水道局及び給水装置工事事業者から提出された道路占用許可申請入力表等を受付し、提出書類に不備があった場合には、適切な助言・指導を行った後、道路管理システムにデータを入力し、道路管理者の許可書等の発行を行う。

	令和4年度	令和3年度	増減
入力見込箇所数（箇所）	6,700	6,500	200

(5) 小規模貯水槽水道の衛生管理改善指導に関する事業

札幌市内における小規模貯水槽水道（有効容量10m<sup>3</sup>以下の貯水槽）について、札幌市水道局貯水槽水道管理指導要領等に基づく衛生管理状況の調査を行い、不備のある施設に対し改善指導等を行う。

	令和4年度	令和3年度	増減
調査見込件数（件）	1,400	1,400	0

(6) 給水装置工事の検査に関する事業

水道局に申請された給水装置工事について、設計審査後の受付からしゅん功検査における書類及び現地検査など一連の業務と、これに付随する事務処理を行う。

	令和4年度	令和3年度	増減
検査見込件数合計（件）	34,000	36,000	△2,000
中央区	4,500	4,500	0
北区	5,000	5,500	△500
東区	4,500	4,500	0
白石区	4,500	5,000	△500
厚別区	1,800	1,800	0
豊平区	4,000	4,500	△500
清田区	1,500	1,500	0
南区	2,000	2,000	0
西区	4,000	4,500	△500
手稲区	2,200	2,200	0

## (7) 配水管路の維持管理に関する事業

送・配水管における弁室、水管橋等の点検を実施し、その劣化状況等の診断及び簡易な整備を行うとともに、給配水管の地下漏水調査を行う。

### ア 管路維持管理業務

	令和4年度	令和3年度	増減
弁室点検見込箇所数（箇所）	608	608	0
簡易整備（ボルト交換、名版・見出票整備等）見込件数（件）	581	676	△95
水管橋点検見込回数（回）	1,394	1,396	△2
簡易整備（放水量調整、名版・進入防止柵整備等）見込件数（件）	550	599	△49
緊急貯水槽点検見込回数（回）	546	518	28
簡易整備（給水弁室内の排水作業等）見込件数（件）	351	348	3
弁筐点検見込箇所数（箇所）	500	500	0
簡易整備（弁筐内土砂除去、見出票整備等）見込件数（件）	227	208	19
水質維持放水点検見込回数（回）	381	375	6
簡易整備（放水量調整、見出票・標示プレート整備等）見込件数（件）	38	33	5

### イ 給配水管漏水調査業務

	令和4年度	令和3年度	増減
給配水管音聴作業 調査量見込（km）	950	950	0
発見見込件数（件）	148	175	△27
漏水量見込（ℓ/分）	1,339.7	2,065.7	△726
消火栓音聴作業 調査量見込（基）	17,610	17,580	30
発見見込件数（件）	17	17	0
漏水量見込（ℓ/分）	1,107.2	1,426.8	△319.6
弁栓音聴作業 調査量見込（基）	1,000	1,000	0
発見見込件数（件）	8	5	3
漏水量見込（ℓ/分）	343.1	182.5	160.6
ブロック計量作業 調査量見込（箇所）	5	5	0

## (8) 水道技術者等講習会の運営管理に関する事業

ア 公益社団法人日本水道協会が主催する配水管の配管、接合等の実技や設計施工に関する知識の習得など、水道技術者養成のための講習会の運営管理を行う。

	令和4年度	令和3年度	増減
配水管工技能講習会 I 見込従事者数（人）	120	120	0
配管設計講習会見込従事者数（人）	19	19	0

※見込従事者数は延べ人数である。

イ 公益財団法人給水工事技術振興財団が主催する給水装置工事主任技術者試験について、その試験監督を行う。

	令和4年度	令和3年度	増減
給水装置工事主任技術者試験監督業務見込従事者数(人)	35	35	0

### (9) 浄水場の維持管理に関する事業

藻岩・白川浄水場の設備の点検整備業務及び排水処理施設運転管理業務並びに西野・宮町、当別浄水場の運転管理業務及び施設・設備の点検整備業務を行う。

#### ア 藻岩浄水場維持管理業務

	令和4年度	令和3年度	増減
延べ点検見込回数合計(回)	4,497	5,687	△1,190
取水・浄水施設	2,993	4,243	△1,250
排水処理施設	1,504	1,444	60

#### イ 白川浄水場維持管理業務

	令和4年度	令和3年度	増減
延べ点検見込回数合計(回)	11,787	11,770	17
取水・浄水施設	8,132	8,189	△57
排水処理施設	3,360	3,370	△10
その他施設	295	211	84

#### ウ 西野・宮町浄水場管理業務

##### ① 西野浄水場

	令和4年度	令和3年度	増減
延べ点検見込回数合計(回)	2,076	2,370	△294
取水・浄水施設	1,237	1,401	△164
排水処理施設	266	271	△5
その他施設	573	698	△125

##### ② 宮町浄水場

	令和4年度	令和3年度	増減
延べ点検見込回数合計(回)	1,820	1,808	12
取水・浄水施設	1,162	1,152	10
排水処理施設	250	249	1
その他施設	408	407	1

#### エ 当別浄水場運転管理業務

	令和4年度	令和3年度	増減
延べ点検見込回数合計(回)	5,636	5,772	△136
取水・浄水施設	3,606	3,572	34
排水処理施設	463	263	200
送水施設	1,216	1,203	13
その他施設	351	734	△383



(10) 水道水質監視・管理に関する事業

浄水場の河川流域における水源監視、ブロック配水区域の給配水水質監視及び浄水場・河川水の水質試験（毎日試験・毎週試験、カビ臭試験など）を行う。

ア 水源監視業務

	令和4年度	令和3年度	増減
延べ監視見込回数合計（回）	13,618	13,609	9
豊平川等	7,168	7,159	9
琴似発寒川・星置川等	6,450	6,450	0

イ 水質管理業務

	令和4年度	令和3年度	増減
給配水水質監視見込延べ回数（回）	3,214	3,204	10
監視地点数	75	75	0
水質試験見込件数合計（件）	29,516	29,474	42
毎日試験・毎週試験	21,016	21,048	△32
カビ臭試験	4,346	4,366	△20
浄水場排水試験	280	213	67
ヒ素調査	1,000	1,000	0
ピコプランクトン監視	312	264	48
水質データ確認	2,562	2,583	△21

(11) 配水施設等の維持管理に関する事業

配水池、ポンプ場及び送水施設（トンネル）の施設・設備の維持管理を行う。

	令和4年度	令和3年度	増減
延べ点検見込回数合計（回）	5,719	5,820	△101
ポンプ場	3,609	3,664	△55
配水池	1,589	1,608	△19
トンネル	154	176	△22
配水センター	112	115	△3
管理用地	39	44	△5
その他	216	213	3

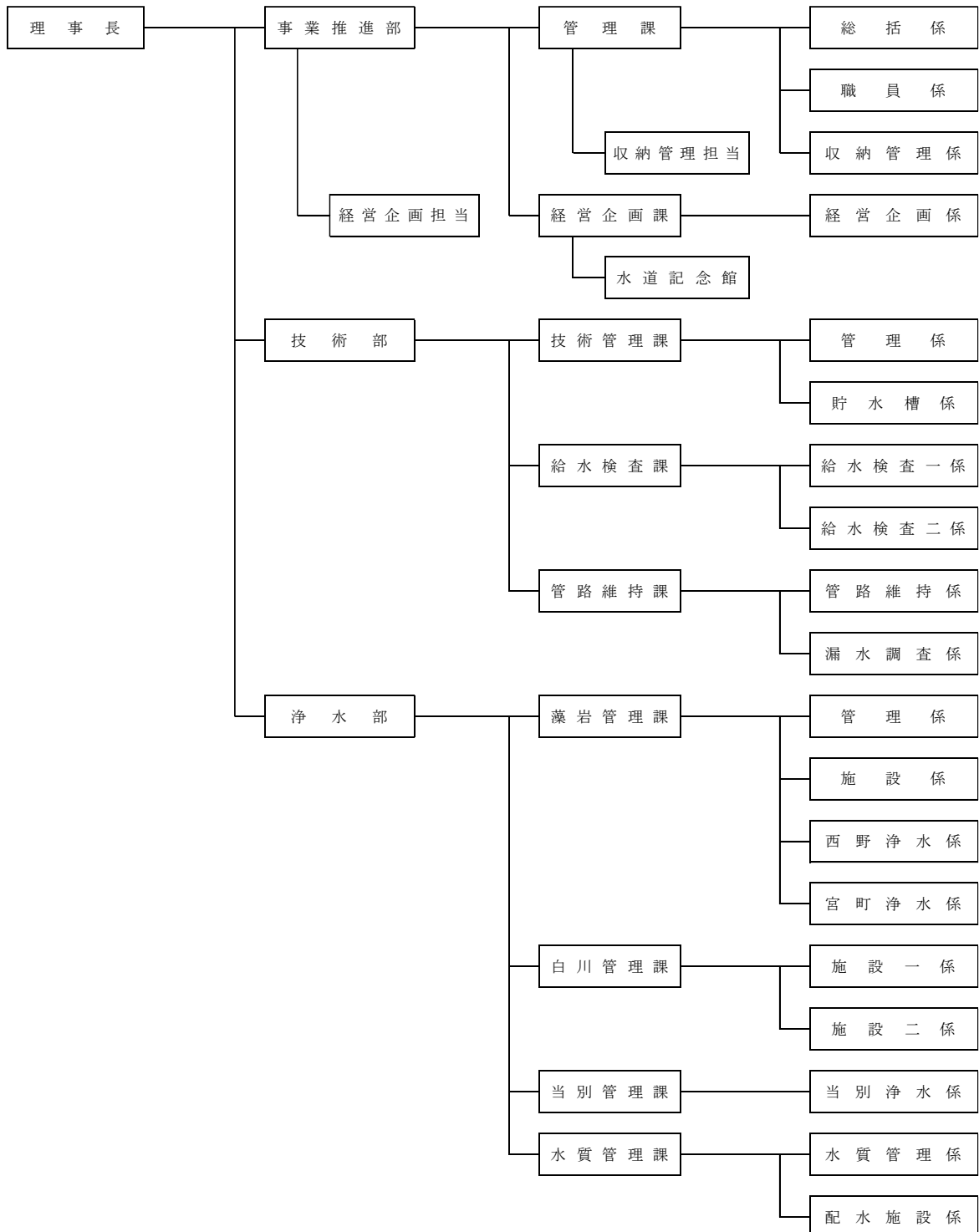
### Ⅲ 組織・機構

#### 1 組織の編成

令和4年度は、新たに収納管理担当課長を配置するとともに、水道記念館を管理課から経営企画課へ移管し、3部10課により事業を行う。

#### 2 機構図

令和4年度の機構図は、次のとおりとする。



令和4年度  
一般財団法人 さっぽろ水道サービス協会  
収支予算書(損益ベース)  
(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

(単位 円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	90,000	90,000	0
基本財産受取利息	90,000	90,000	0
② 特定資産運用益	70,000	36,000	34,000
特定資産受取利息	70,000	36,000	34,000
③ 事業収益	1,701,130,000	1,673,178,000	27,952,000
調査・研究及び普及宣伝事業収益	498,000	380,000	118,000
一般事業収益	17,041,000	20,422,000	△ 3,381,000
受託事業収益	1,683,591,000	1,652,376,000	31,215,000
④ 受取補助金等	324,000	0	324,000
受取国庫助成金	324,000	0	324,000
⑤ 雑収益	296,000	322,000	△ 26,000
雑収益	296,000	322,000	△ 26,000
経常収益計	1,701,910,000	1,673,626,000	28,284,000
(2) 経常費用			
① 事業費	1,521,665,000	1,496,312,000	25,353,000
役員報酬	4,730,000	4,956,000	△ 226,000
通勤手当役員報酬分	132,000	109,000	23,000
給料	559,259,000	541,199,000	18,060,000
諸手当	226,946,000	227,201,000	△ 255,000
賃金	105,697,000	111,838,000	△ 6,141,000
賞与引当金繰入額	76,567,000	76,529,000	38,000
法定福利費	153,133,000	150,769,000	2,364,000
福利厚生費	47,664,000	45,842,000	1,822,000
通勤手当	25,017,000	23,058,000	1,959,000
通勤手当貸金分	5,193,000	6,132,000	△ 939,000
通信運搬費	5,726,000	5,864,000	△ 138,000
減価償却費	14,348,000	8,737,000	5,611,000
消耗什器備品費	32,157,000	28,063,000	4,094,000
修繕費	4,470,000	4,320,000	150,000

(単位 円)

科 目	当年度	前年度	増 減
印刷製本費	2,174,000	2,359,000	△ 185,000
燃料費	8,607,000	7,441,000	1,166,000
光熱水料費	81,000	61,000	20,000
被服費	5,452,000	4,678,000	774,000
賃借料	21,805,000	28,521,000	△ 6,716,000
保険料	948,000	1,016,000	△ 68,000
諸謝金	100,000	100,000	0
租税公課	130,125,000	128,390,000	1,735,000
委託費	85,268,000	82,882,000	2,386,000
支払手数料	2,870,000	3,082,000	△ 212,000
交際費	15,000	15,000	0
雑費	3,181,000	3,150,000	31,000
② 管理費	168,663,000	174,346,000	△ 5,683,000
役員報酬	3,430,000	5,029,000	△ 1,599,000
通勤手当役員報酬分	82,000	149,000	△ 67,000
給料	54,768,000	55,223,000	△ 455,000
諸手当	26,125,000	27,776,000	△ 1,651,000
賞与引当金繰入額	9,097,000	9,416,000	△ 319,000
法定福利費	16,337,000	16,848,000	△ 511,000
福利厚生費	7,834,000	7,134,000	700,000
通勤手当	2,353,000	2,344,000	9,000
研修費	12,842,000	12,410,000	432,000
会議費	300,000	300,000	0
旅費	2,303,000	3,216,000	△ 913,000
通信運搬費	1,731,000	1,635,000	96,000
減価償却費	2,877,000	3,405,000	△ 528,000
消耗什器備品費	3,599,000	2,218,000	1,381,000
修繕費	200,000	350,000	△ 150,000
印刷製本費	611,000	651,000	△ 40,000
燃料費	202,000	154,000	48,000
光熱水料費	702,000	726,000	△ 24,000
被服費	94,000	89,000	5,000

(単位 円)

科 目	当年度	前年度	増 減
賃借料	9,249,000	9,348,000	△ 99,000
保険料	205,000	205,000	0
諸謝金	100,000	200,000	△ 100,000
租税公課	1,490,000	1,480,000	10,000
支払負担金	1,710,000	2,499,000	△ 789,000
委託費	5,299,000	4,334,000	965,000
支払手数料	4,017,000	5,762,000	△ 1,745,000
交際費	115,000	115,000	0
雑費	991,000	1,330,000	△ 339,000
経常費用計	1,690,328,000	1,670,658,000	19,670,000
当期経常増減額	11,582,000	2,968,000	8,614,000
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	11,582,000	2,968,000	8,614,000
法人税、住民税及び事業税	11,403,000	2,809,000	8,594,000
当期一般正味財産増減額	179,000	159,000	20,000
一般正味財産期首残高	925,609,000	876,274,000	49,335,000
一般正味財産期末残高	925,788,000	876,433,000	49,355,000
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	5,000,000	5,000,000	0
指定正味財産期末残高	5,000,000	5,000,000	0
III 正味財産期末残高	930,788,000	881,433,000	49,355,000

(注) 1 借入金限度額 50,000千円

2 債務負担額 0円

令和 4 年度  
一般財団法人 さっぽろ水道サービス協会  
予 定 貸 借 対 照 表

(令和 5 年 3 月 3 1 日現在)

(単位 円)

科 目	当年度	前年度	増 減
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金	391,000	383,000	8,000
預 金	584,741,000	528,346,000	56,395,000
前払費用	1,952,000	1,846,000	106,000
未 収 金	142,931,000	139,901,000	3,030,000
流動資産合計	730,015,000	670,476,000	59,539,000
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
有価証券	9,992,000	9,992,000	0
預 金	8,000	8,000	0
基本財産合計	10,000,000	10,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	3,139,000	3,661,000	△ 522,000
減価償却引当資産	100,240,000	92,825,000	7,415,000
経営安定積立資産	120,000,000	120,000,000	0
特定資産合計	223,379,000	216,486,000	6,893,000
(3) その他の固定資産			
建 物	1,496,000	1,620,000	△ 124,000
建物付属設備	3,015,000	3,476,000	△ 461,000
什 器 備 品	13,313,000	12,015,000	1,298,000
ソフトウェア	2,878,000	6,803,000	△ 3,925,000
差入保証金	100,000	13,484,000	△ 13,384,000
投資有価証券	99,977,000	99,968,000	9,000
リース資産	22,624,000	8,930,000	13,694,000
その他の固定資産合計	143,403,000	146,296,000	△ 2,893,000
固定資産合計	376,782,000	372,782,000	4,000,000
資産合計	1,106,797,000	1,043,258,000	63,539,000

(単位 円)

科 目	当年度	前年度	増 減
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未払金	14,881,000	18,660,000	△ 3,779,000
未払費用	14,029,000	18,368,000	△ 4,339,000
未払消費税等	23,755,000	22,640,000	1,115,000
未払法人税等	11,403,000	2,809,000	8,594,000
前受金	95,000	90,000	5,000
賞与引当金	85,664,000	85,945,000	△ 281,000
預り金	419,000	722,000	△ 303,000
リース債務	8,367,000	2,912,000	5,455,000
流動負債合計	158,613,000	152,146,000	6,467,000
2. 固定負債			
退職給付引当金	3,139,000	3,661,000	△ 522,000
長期リース債務	14,257,000	6,018,000	8,239,000
固定負債合計	17,396,000	9,679,000	7,717,000
負債合計	176,009,000	161,825,000	14,184,000
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産			
寄付金	5,000,000	5,000,000	0
指定正味財産合計	5,000,000	5,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(5,000,000)	(5,000,000)	(0)
2. 一般正味財産	925,788,000	876,433,000	49,355,000
(うち基本財産への充当額)	(5,000,000)	(5,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(220,240,000)	(212,825,000)	(7,415,000)
正味財産合計	930,788,000	881,433,000	49,355,000
負債及び正味財産合計	1,106,797,000	1,043,258,000	63,539,000